



第 63 代理事長 綱木 隆太郎

この度、この伝統ある大阪菓業青年クラブの第 63 代理事長に就任いたしました
中班、綱木隆太郎です。

この歴史あるクラブの理事長という大任の重みに身が引き締まる思いではありますが、
青年クラブ員らしく若さとパワーで頑張りたいと思っております。どうか皆様、この一

年宜しくお願い致します。

私、気が付けば入会から 20 数年が過ぎ、思い返すとこのクラブを通じ、様々な方々と出会い多大な経験を積ませて
いただきました。

どれだけの方と出会ったでしょうか。どれだけの事業に参加、また企画をしたでしょうか。尽きる事のない思い出
が浮かんでくると同時に、今現在の私に多大な影響と経験を積ませて頂いたこの組合に対して感謝の念が湧き上
がってきます。

その大恩ある青年クラブに私が恩返し出来る事は何か？そう自問自答しながらこの一年励んでいきたいと思っ
ております。

まず、この一年を通じて、私が経験したことを若手に伝えたいと思っております。ただ、その気持ちはいらぬ心配な
のかもしれませんが。今年度役員である私の仲間達は大変熱意をもっており、また皆優秀であります。よって組合運
営に関してはどうか皆様、ご案してお任せください。

ただ、例年通り・・・では無く、何かを創造しチャレンジしていくように伝える所存です。

というのも、この大阪菓業青年クラブは、どの団体にも所属していない組合でございます。そして現役世代にすべ
てを任せて運営するという素晴らしいスタイルを 60 数年続けており、これこそが自由な発想と行動を可能にする素
晴らしい運営スタイルであると私は考えています。

近年では海外授業等に取り組み、また設立当初から続いている「愛の菓子運動」も含め、全国の青年部からも注
目されています。その根源たる受け継がれてきた青年クラブスピリッツを繋げていくのが私の芯たる役目だと考え
ています。

ただ、それも会員皆様の積極的な組合無くしては始まりません。どうか、積極的なご参加を賜りますようお願い致
します。

私は、人と人が出会い、言葉を交わし、何かを感じ、そこからこそ何かが生まれると、常日頃考えています。この青
年クラブこそ、まさにそういう場でないでしょうか？

会員の皆様におかれましても、さらに、この組合を活用し自己の研鑽や経験に変えて頂ければ幸いです。

そのために、役員一同、この大阪菓業青年クラブの運営に励んでまいりたい所存でございます。至らぬ点等あると
は思いますが、どうかこの一年ご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い致します。